

美里町の石橋「二俣橋[ふたまたばし]」で、橋の影がハートの形に見える季節を迎えた。「恋人の聖地」として知られており、県内外からカップルらが訪れている。

二俣橋は1829年築造で、長さ28メートル、幅3・3メートル、高さ8メートル。10月から2月の正午前の約30分ほど、橋のアーチと川面に映る光と影がハート形になる。

2011年に静岡市のNPO法人から「恋人の聖地」に認定され、町も橋にハート形のモニュメントを設置してPRしている。

北九州市の会社員荒木努さん(26)と吉村美里さん(26)は「ネットで見つけて来ました。彼女の名前と町名が同じなんです」と話し、ハートに架かる橋を、手を繋いで渡っていった。(谷川剛)



石橋の光と影がハート形を描いた二俣橋＝24日午前11時半ごろ、美里町